

きみ かげ ほし 君の影 星のように 朝に溶けて消えていく
い さき な おも あふ 行き先を失くしたまま 想いは溢れてくる

つよ よわ 強さにも弱さにも この心は向き合えた
きみ あ す き こわ 君とならどんな明日が来ても怖くないのに

ふたりある とき しん 二人歩いた時を 信じていてほしい

しんじつ うそ よる あ あさ く 真実も嘘もなく 夜が明けて朝が来る
ほしぞら あさ と きみ かがや 星空が朝に溶けても 君の輝きはわかるよ

し ゆめみ ひとり さよならを知らないで 夢見たのは 一人きり
ころ きみ め なに うつつ ああの頃の 君の目には 何が映っていたの？

ふたり とき だれ け 二人つないだ時を 誰も消せはしない

こどく いた きみ かん 孤独とか痛みとか どんな君も感じたい
いちど み あ ねが かな もう一度 見つめ合えれば 願いはきっと叶う

よ あ まえ かげ ほお なが 夜明け前 まどろみに 風が頬を 流れていく
きみ こえ きみ かお すべ つつ み 君の声 君の香りが 全てを包んで満ちていく

おも で は きみ そら ま あ 思い出を羽ばたかせ 君の空へ舞い上がる
ほしぞら あさ と きみ かがや 星空が朝に溶けても 君の輝きはわかるよ

あい ふたり あ 愛してる ただそれだけで 二人はいつかまた会える